



平成25年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年5月10日

上場取引所 東 名

上場会社名 ホシザキ電機株式会社

コード番号 6465 URL <http://www.hoshizaki.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 鈴木 幸彦

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役

(氏名) 本郷 正己

TEL 0562-96-1320

四半期報告書提出予定日 平成25年5月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年12月期第1四半期の連結業績(平成25年1月1日～平成25年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年12月期第1四半期	46,212	7.6	4,304	19.2	6,645	55.2	3,907	59.2
24年12月期第1四半期	42,934	5.0	3,609	25.7	4,280	36.8	2,454	37.5

(注) 包括利益 25年12月期第1四半期 6,052百万円 (57.0%) 24年12月期第1四半期 3,854百万円 (59.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年12月期第1四半期	54.14	54.02
24年12月期第1四半期	34.04	33.98

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年12月期第1四半期	211,999	131,308	61.4
24年12月期	201,787	126,389	62.6

(参考) 自己資本 25年12月期第1四半期 130,133百万円 24年12月期 126,244百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年12月期	—	0.00	—	30.00	30.00
25年12月期	—	—	—	—	—
25年12月期(予想)	—	0.00	—	30.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年12月期の連結業績予想(平成25年1月1日～平成25年12月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	98,600	9.7	8,800	△3.0	9,000	2.5	5,000	△0.7	69.27
通期	198,000	10.7	16,500	0.1	17,100	△13.5	9,600	△14.9	133.00

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
詳細につきましては、[添付資料]P. 3「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

詳細につきましては、[添付資料]P. 3「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年12月期1Q	72,188,250 株	24年12月期	72,179,250 株
② 期末自己株式数	25年12月期1Q	561 株	24年12月期	523 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年12月期1Q	72,180,949 株	24年12月期1Q	72,117,811 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

平成25年2月12日発表の連結業績予想は、第2四半期連結累計期間、通期ともに変更はございません。なお、業績予想は当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。詳細につきましては、[添付資料]P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
(5) セグメント情報等	8
(6) 企業結合等関係	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間における国内の経済環境は、新政権による経済対策、金融政策に対する期待感から円高の是正が見られる等、景気回復への明るい兆しも見受けられるようになりました。

海外におきましては、欧州の政府債務危機の影響、中国をはじめとする新興国の経済成長鈍化等により、依然として先行き不透明な状況で推移いたしました。

当社グループを取り巻く環境におきましても、主要販売先であるフードサービス産業において、一部顧客に設備投資の再開が見受けられましたが、消費者の節約志向や競争の激化等により厳しい環境が続いております。

このような環境のなか、当社グループは引き続き、国内では、フードサービス産業への積極的な拡販と新規顧客の継続的な開拓を行ってまいりました。海外では、北中米、欧州・アジアにおいて、主力製品の拡販に努めました。その一方で、原価低減に加えITを活用した業務の効率化や生産性の向上に努め、利益の確保にグループをあげて取り組みました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高462億12百万円（前年同期比7.6%増）、営業利益43億4百万円（同19.2%増）、経常利益66億45百万円（同55.2%増）となりました。また、四半期純利益は、39億7百万円（同59.2%増）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

①日本

日本におきましては、業務用冷蔵庫や製氷機、食器洗浄機等の拡販、その他の新規顧客への積極的な営業活動を展開してまいりました。その結果、売上高は362億36百万円（前年同期比4.2%増）、セグメント利益は38億92百万円（同22.8%増）となりました。

②北中米

北中米におきましては、製氷機や業務用冷蔵庫の拡販を推進しました。また、米国の食器洗浄機メーカー Jackson WWS, Inc. を連結の範囲に含めました。その結果、売上高は85億62百万円（前年同期比23.4%増）、セグメント利益は9億15百万円（同19.4%増）となりました。

③欧州・アジア

欧州・アジアにおきましては、主力製品の積極的な拡販に努めてまいりましたが、売上高は26億26百万円（前年同期比14.6%増）、セグメント利益は35百万円（同72.2%減）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末に比べ102億11百万円増加し、2,119億99百万円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末に比べ17億94百万円増加し、1,438億69百万円となりました。主な要因は、現金及び預金が減少しましたが、受取手形及び売掛金、商品及び製品、原材料及び貯蔵品の増加によるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ84億17百万円増加し、681億30百万円となりました。主な要因は、有形固定資産、のれん、投資その他の資産の増加によるものであります。

当第1四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末に比べ52億93百万円増加し、806億90百万円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末に比べ46億23百万円増加し、610億78百万円となりました。主な要因は、未払法人税等が減少しましたが、支払手形及び買掛金、賞与引当金の増加によるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ6億69百万円増加し、196億12百万円となりました。主な要因は、退職給付引当金の増加によるものであります。

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ49億18百万円増加し、1,313億8百万円となりました。主な要因は、利益剰余金、為替換算調整勘定、少数株主持分の増加によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

連結業績予想につきましては、平成25年2月12日の決算短信で公表いたしました平成25年12月期第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
重要性が乏しいため、記載を省略しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当第1四半期連結会計期間より、平成25年1月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。この変更による当第1四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	98,504	91,493
受取手形及び売掛金	18,529	24,357
有価証券	5,314	4,010
商品及び製品	7,384	8,934
仕掛品	2,101	2,361
原材料及び貯蔵品	5,096	6,679
その他	5,228	6,133
貸倒引当金	△84	△103
流動資産合計	142,074	143,869
固定資産		
有形固定資産	37,909	39,381
無形固定資産		
のれん	6,664	11,901
その他	5,231	5,278
無形固定資産合計	11,896	17,179
投資その他の資産	9,907	11,568
固定資産合計	59,712	68,130
資産合計	201,787	211,999
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	9,727	13,604
未払法人税等	5,064	3,691
賞与引当金	2,335	4,959
その他の引当金	878	946
その他	38,449	37,876
流動負債合計	56,455	61,078
固定負債		
退職給付引当金	13,398	13,509
その他の引当金	789	778
その他	4,755	5,324
固定負債合計	18,942	19,612
負債合計	75,397	80,690

(単位: 百万円)

	前連結会計年度 (平成24年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,850	7,855
資本剰余金	14,372	14,377
利益剰余金	109,279	111,021
自己株式	△0	△0
株主資本合計	131,501	133,254
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△58	108
為替換算調整勘定	△5,197	△3,229
その他の包括利益累計額合計	△5,256	△3,120
少数株主持分	144	1,174
純資産合計	126,389	131,308
負債純資産合計	201,787	211,999

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年3月31日)
売上高	42,934	46,212
売上原価	26,643	28,256
売上総利益	16,290	17,955
販売費及び一般管理費	12,681	13,651
営業利益	3,609	4,304
営業外収益		
受取利息	57	102
受取配当金	0	0
為替差益	555	2,049
その他	82	207
営業外収益合計	695	2,360
営業外費用		
支払利息	2	2
その他	21	16
営業外費用合計	24	18
経常利益	4,280	6,645
特別利益		
固定資産売却益	0	1
特別利益合計	0	1
特別損失		
固定資産廃棄損	8	12
その他	1	2
特別損失合計	9	14
税金等調整前四半期純利益	4,271	6,632
法人税、住民税及び事業税	3,045	3,819
法人税等調整額	△1,224	△1,085
法人税等合計	1,820	2,733
少数株主損益調整前四半期純利益	2,451	3,898
少数株主損失(△)	△3	△9
四半期純利益	2,454	3,907

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位: 百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成24年1月1日 至 平成24年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成25年1月1日 至 平成25年3月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	2,451	3,898
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	86	167
為替換算調整勘定	1,317	1,987
その他の包括利益合計	1,403	2,154
四半期包括利益	3,854	6,052
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,848	6,043
少数株主に係る四半期包括利益	6	9

(3) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。

(5) セグメント情報等
(セグメント情報)

I 前第1四半期連結累計期間(自平成24年1月1日至平成24年3月31日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	日本	北中米	欧州・アジア	計		
売上高						
外部顧客への売上高	33,996	6,859	2,078	42,934	—	42,934
セグメント間の内部売上高 又は振替高	763	81	212	1,057	△1,057	—
計	34,759	6,940	2,291	43,991	△1,057	42,934
セグメント利益	3,169	767	128	4,065	△455	3,609

(注) 1. セグメント利益の調整額△455百万円には、のれんの償却額△333百万円、無形固定資産等の償却額△109百万円、棚卸資産の調整額△58百万円、その他セグメント間取引の調整等45百万円が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成25年1月1日至平成25年3月31日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	日本	北中米	欧州・アジア	計		
売上高						
外部顧客への売上高	35,355	8,421	2,436	46,212	—	46,212
セグメント間の内部売上高 又は振替高	881	141	189	1,212	△1,212	—
計	36,236	8,562	2,626	47,425	△1,212	46,212
セグメント利益	3,892	915	35	4,844	△540	4,304

(注) 1. セグメント利益の調整額△540百万円には、のれんの償却額△423百万円、無形固定資産等の償却額△118百万円、棚卸資産の調整額△57百万円、その他セグメント間取引の調整等59百万円が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 「会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更」に記載のとおり、当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当第1四半期連結会計期間より、平成25年1月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。この変更による当第1四半期連結累計期間のセグメント利益に与える影響は軽微であります。

(6) 企業結合等関係
(取得による企業結合)

1. 企業結合の概要

(1) 被取得企業の名称及び事業内容

名 称 : Western Refrigeration Private Limited

事業内容 : インドにおける冷蔵ボトルショーケース及び冷蔵・冷凍ストッカーの開発・生産・販売、保守サービス

(2) 企業結合を行った主な理由

業務用冷蔵庫を含む当社グループ製品のインド国内での製造・販売、当社の支援によるWestern Refrigeration Private Limitedの製品開発力強化、生産性及び品質改善等のシナジー効果の創出。

(3) 企業結合日

平成25年1月23日

(4) 企業結合の法的形式

現金を対価とした株式の取得

(5) 結合後企業の名称

変更ありません。

(6) 取得した議決権比率

50.01%

本取得後においても、当社は既存株主が保有する株式を段階的に取得し、2016年末までに100%の株式を保有する予定です。

(7) 取得企業を決定するに至った主な根拠

現金を対価とする株式取得であるため。

2. 四半期連結累計期間に係る四半期連結損益計算書に含まれる被取得企業の業績の期間

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結損益計算書には被取得企業の業績は含まれておりません。

3. 被取得企業の取得原価及び内訳

取得の対価 2,565百万円

取得に直接要した費用 212百万円

取得原価 2,777百万円

4. 発生したのれんの金額、発生原因、償却方法及び償却期間

(1) 発生したのれん

1,882百万円

なお、のれんは、取得原価の配分が完了していないため、合理的な情報に基づき暫定的に算定されたものであります。

(2) 発生原因

取得原価が被取得企業の純資産の当社の持分相当額を上回ったため、その超過額をのれんとして計上しております。

(3) 償却方法及び償却期間

10年間にわたる均等償却

(取得による企業結合)

1. 企業結合の概要

Jackson MSC, Inc. (現Jackson WWS, Inc.) を新たに設立し、当社がThe Manitowoc Company, Inc. から、米国の食器洗浄機メーカーJackson MSC LLCの事業を譲受けました。

(1) 被取得企業の名称及び事業内容

名 称 : Jackson MSC LLC

事業内容 : 米国における食器洗浄機の開発・生産・販売・保守サービス

(2) 企業結合を行った主な理由

当社グループのグローバルな販売チャネルの活用、顧客の相互紹介、当社グループ製品との共同販売、当社の支援によるJackson WWS, Inc. の製品開発力強化、生産性及び品質改善等のシナジー効果の創出。

(3) 企業結合日

平成25年1月28日

(4) 企業結合の法的形式

現金を対価とした事業の譲受

(5) 結合後企業の名称

Jackson MSC, Inc. (現Jackson WWS, Inc.)

(6) 取得企業を決定するに至った主な根拠

現金を対価とする事業譲受であるため。

2. 四半期連結累計期間に係る四半期連結損益計算書に含まれる被取得企業の業績の期間

平成25年1月28日から平成25年3月31日までの業績が、当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結損益計算書に含まれております。

3. 被取得企業の取得原価及び内訳

取得の対価	3,564百万円
-------	----------

取得原価	3,564百万円
------	----------

4. 発生したのれんの金額、発生原因、償却方法及び償却期間

(1) 発生したのれん金額

3,300百万円

なお、のれん金額は、取得原価の配分が完了していないため、合理的な情報に基づき暫定的に算定されたものであります。

(2) 発生原因

取得原価が取得した資産及び引き受けた負債の純額を上回ったため、その超過額をのれんとして計上しております。

(3) 償却方法及び償却期間

12年間にわたる均等償却